

第三十五回 宮島全国短歌大会

道浦 母都子 先生 選

入賞作品集

広島県知事賞

(三六〇)

広島

おおした
大下

かおり
香

ベトナム製アメリカ国旗のTシャツをさらり着こなす娘の五月

日本歌人クラブ賞

(一九三)

広島

みなとだに
湊谷

あやの
文野

いただいたタクシーチケット希少種の蝶持つ手つきで暫し眺める

広島県歌人協会賞

(二九)

広島

やまだ
山田

のりひこ
典彦

色を変えことばを変えて雨に濡れ北半球は紫陽花の国

山口県歌人協会賞

(七四)

広島

こむら
小村

ゆきとも
幸友

令嬢の令とて聞きし御代なれど曾て令状受けし世のあり

宮島全国短歌大会実行委員会賞

(一二二)

広島

いとらう
伊藤

れいこ
玲子

空豆の塩茹でうまし逝きし子に許してもらふなほ生きゐるを

広島県教育委員会賞

(一五二)

岐阜

おおの
大野

くみこ
久美子

ポトマックの桜並木は我のもの曲作りして琴で奏でる

廿日市市長賞

(二二一)

山口

倉谷くらたに

節子せつこ

「ミルク用お湯あります」と掲示あり商店街の郵便局に

廿日市市教育委員会賞

(二六七)

広島

宮本みやもと

君子きみこ

ギターかかへ反戦歌唄ふ若者よ暑き原爆ドームのめぐり

厳島神社賞

(三〇四)

広島

岩木いわき

美代子みよこ

被爆者の短歌一首を加えんと書き直されし平和宣言

宮島観光協会賞

(三三〇)

広島

桑木くわぎ

倫恵みちえ

一匹のほうたる高く舞い上り仰向き見るに星と交わる

中国新聞社賞

(五〇八)

広島

河吉かわよし

和子かずこ

コンビニのたしかな歯切れさわやかな店員ははるかベトナムの若者ひと

NHK広島放送局賞

(五二五)

兵庫

春名はるな

直美なおみ

気の利いた助詞のごときの欠けているつまり私と夫の関係

中国放送賞

(五四〇)

福岡

西尾にしお

朋江ともえ

コミュニティバスに過ぎ行く吾が街の見知らぬ路地に発見のあり

広島テレビ賞

(五六五)

福岡

西山にしやま

博幸ひろゆき

炭坑社宅あとの空地にぽつねんと電話ボックス明るく灯る

広島ホームテレビ賞

(五九三)

広島

大埕おおたお

敦子あつこ

折鶴の再生紙なる絵葉書に今は平和と灯籠流す

テレビ新広島賞

(七二二)

山口

正木まさき

紀子みちこ

基地機能強化されたり米兵の数多たむろす花火大会

優秀賞

(一一)

東京

鈴木 すずき

正樹 まさき

君ばかり見ている僕をあざ笑い木漏れ日陽気にぐらぐら光る

優秀賞

(一六)

広島

織田 おだ

卓荘 たくそう

はらはらと散るは暫しの別れなり葉桜の下また君と呑む

優秀賞

(二〇)

京都

辻井 つじい

章雄 あきお

駆け出して後から思考ついてくる少年には外がすべてで

優秀賞

(三六)

広島

家島 かしま

晶子 あきこ

鼻上げて風聴く如く牛の耳山の牧舎に野分け近づく

優秀賞

(四一)

山口

宮本 みやもと

勝人 かつと

水槽の小魚喰はるる事のなき水族館の列に連なる

優秀賞

(四七)

広島

三浦 みうら

恭子 きょうこ

生きるとはこんなに明るいものなのか出でて帰りに飛びゆく燕

優秀賞

(五四)

広島

早岐

とよ子

房ふさの南京黄櫨の実は青く秋のひかりに風を鳴らしぬ

優秀賞

(六二)

広島

田村

陽子

ぬばたまの闇にむかいて留守電の君の声聞くしみじみと秋

優秀賞

(八一)

青森

木立

徹

われもまた小さき岬の守りびとなりて照らさむ大海原を

優秀賞

(九八)

広島

廣本

貢一

ローカル線右も左も人家なく野趣に富む地を這ふやうに行く

優秀賞

(一〇〇)

アメリカ

アダムス理恵

新しいノートのはじめに書く文字を何度も消して書き直す「令和」

優秀賞

(一六〇)

広島

仲尾修

暮れながら風なごみゆく浜に立つ試歩を終えたる妻を支えて

優秀賞

(二二三七)

広島

徳田とくだ

義幸よしゆき

列島は一気に秋をつかみ寄せ布団を胸まで引き上げさせる

優秀賞

(二二九三)

大分

佐藤さとう

信二しんじ

かた腕にをさまるほどの吾子を抱き育見休暇の初日はじむる

優秀賞

(三三八九)

広島

田辺たなべ

操子みさこ

思い切り手足伸ばして風を吸う春の光の国分寺跡